

電気・ガス乾燥機の事故

事故の概要

【事例①】老人ホーム内の電気衣類乾燥機を設置していた部屋付近から出火し、2人が死亡して2人が重傷を負った。

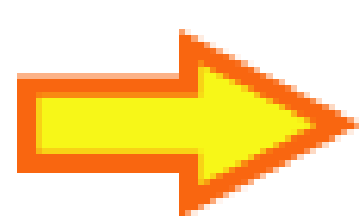
【事例②】ガス衣類乾燥機が突然停止し、ガス臭がしたので確認すると本体側面の吸気フィルターの網が焼けていた。

事故の原因

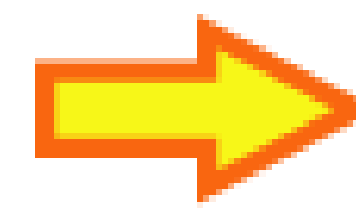
【事例①】電気衣類乾燥機で乾燥させたタオルにオイルが残っていました。そのため、オイルが酸化反応を起こして発熱し、出火したものです。

【事例②】故障により着火不良を示す点火エラーの表示が出ていました。その状態で点火操作を繰り返したため、機器内に充満した未燃焼ガスに点火時のスパークが異常着火したものです。

【NITEの再現実験】



酸化熱でタオルが焦げてきました



発火し、燃え広がりました



酸化反応とは・美容オイル(オリーブオイル、アーモンドオイル、グレープシードオイル等)、食用油、動物油などの油は、空気に触れると酸化して熱が発生します。この熱を酸化熱といいますが、酸化熱が蓄積して温度が上昇することで、自然発火に至ることがあります。



事故防止のために

◆美容オイル(オリーブオイル等)、食用油等が付着したタオルや衣類は乾燥機で乾かさないうでください。乾燥機を使用する場合はオイルを完全に除去してください。

◆機器にエラー表示が出たら、使用を中止して取扱説明書に従い対応してください。

◆電源プラグのほこりは定期的に清掃してください。ほこりが溜まると湿気等でトラッキング現象が生じることがあります。

